

## 鳥感染症検査(PCR法) ※3～7日分の冷蔵糞便推奨(報告日数8日前後)

	説明	当院の解釈
オウム類嘴羽毛病:PBFDV	オウム目に多いがセキセイインコの陽性率も高く、主にヒナや若鳥に重要です。潜伏期は最長数年と考えられ、成鳥などの免疫がしっかりした個体同士での水平感染はまれ。偽陰性・疑陽性もあるので定期検査がお勧めです。(オカメ・南米原産種で陽性率低い)	◎ 症状がある時や新しい雛を迎える時の検査が特に有用と思われます。
セキセイインコ雛病:BFD(APV)	オウム・インコ類からフィンチ類まで様々な種類に感受性があるが、主にはセキセイインコやラブバードで問題視されます。1歳以上の成鳥での感染ではほとんど発症しないが、不顕性鳥での検出率は低く、定期検査がお勧めです。(14日間発症しない場合、ウイルスが排除されるかキャリアになり、発症はほとんどない。排菌は10か月以内がほとんど)	◎ 症状がある時や新しい雛を迎える時の検査が特に有用と思われます。
鳥クラミジア(オウム病)	オウム類・ハト類・セキセイインコで多く報告されます。キャリアとなり数年後に発症することもあります。購入直後や何らかのストレスによる免疫力低下が発症に関与します。人に感染し、しばしば問題視される事も有り、潜伏感染もあり、定期検査がお勧めです。	◎ 症状がある時や新しい雛を迎える時や定期の検査が特に有用と思われます。
鳥マクロラブダス/メガバクテリア	オウム目(インコ目)・スズメ目で感染報告が多く、文鳥やラブバードでは免疫低下で問題を起こす可能性あり。1歳を過ぎると排菌率が下がると考えられ、潜伏感染もあるので定期検査がお勧めです。	◎ 症状があるときや定期検査・駆除がお勧め。
鳥結核菌	世界各地で発生しており清浄地と考えられていた本邦でも 少なからず症例が認められているとのこと。潜伏感染の可能性もあり定期検査が勧められています。	△ 確定診断の一助として。
クリプトコッカス	鳥はもともと体温が高くクリプトコッカスは増殖しにくく、さらに不顕性感染も多い感染症です。、感染率も低く、免疫不全個体においての呼吸器症状が主な症状です。人畜共通感染症です。	△ 確定診断の一助として。
料金(税抜き)	上記項目: 1病原体8,500円2病原体10,500円3病原体12,500円4病原体15,000円5病原体17,000円6病原体19,000円 (送料手数料込み)	
鳥マイコプラズマ	感染しやすく幼鳥の多くが保有。呼吸器疾患ならば検査以前にマイコプラズマを想定した治療を開始。検査でマイコプラズマは検出できるが検出された菌の病原性の有無については判別不能。 <b>※糞便での検査不可です。</b>	△ 確定診断の一助として。血液や鼻汁・口腔内拭い液での診断
料金(税抜き)	上記の検査セット料金に 検体が別なので、採血その他検体採取量が発生いたします。	
鳥ボルナウイルス	本邦ではオウム目に感染するタイプがよく見つかる不明点の多いウイルス。便の経口摂取が最も有力な感染ルートとされる一方、ウイルス排泄は間歇的。	◎ オカメインコなど、最近心配なウイルスです。定期検査が推奨です。
料金(税抜き)	上記7病原体とは別系統の検査になるため 単体料金9,000円。上記セットで6,000円(送料手数料込み)となります。	

- 鳥さんのペットホテルをご利用の場合、他利用者様への感染事故予防のため、過去1年以内の検査証明書が必要となります。
- 当獣医師は 鳥さんだけの専門医ではなく、また、鳥さん自体も感染症が多いことから 診察はLINEやお電話(急ぎの場合)での完全予約制となります。
- 小鳥さんは ストレス・低酸素・パニックに非常に弱い生き物ですので、まず、ご来院に当たっての注意点をLINEでご説明させていただいています。
- 診察までの流れとしまして、ご来院時の輸送事故予防のためのアドバイスや、万が一にもストレス大敵の鳥さんに無駄にお足を運ばせないためにも 事前に無料LINEにて症状その他のご相談をいただき、当獣医師の治療方針をご提示しご納得いただいてから診させていただきます。